

No.14 幼少の頃のサレコウベ

頭の良い人は、頭が大きいそうである。源頼朝は、頭がよくて、しかも、その頭蓋骨は実に大きかったと今に伝えられている。

と言ったからといって、逆は必ずしも真ならず。頭の大きい人のみんなが頭が良いとは限らない。Yさんは頭が人並みはずれて大きい。山の温泉旅館のオヤジだが、しっかり者の女将が何もかも仕切っているから、本人は風呂のかまたき以外にはやることが無いので、「ノム・ウツ・カウ」の悪所通い。Yさんの頭蓋骨はびっくりするほど大きいが、その中身が芳しいとは義理にも言えない。

.....

「さあさあ、寄ってらっしゃい、見てらっしゃい。源頼朝公のサレコウベーでございますー。」

「ええ？ このサレコウベは小さいね。頼朝公は頭が大きいって聞いていたがねえ？」

「これはご幼少の頃のサレコウベーでございますからー。」

「？？？」

